

市長との約束 2016



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

鹿島台総合支所長

林 啓一

約束内容	新駅を核とする新しい地域づくり
達成目標	平成27年度は東西自由通路に掲示施設を設け、ポスター等による情報発信の基礎を築いたので、今年度は本格的な利活用を促します。新たに、東西の駅入口のショーケースを利用し、東部障害者地域支援センター鹿島台事業所の製品を立体的に展示し、かつ施設や活動状況を紹介にも活用していきます。さらに、その後地場産品や地元製品の展示を企画します。また、駅周辺整備が終了後、地域住民とともにランドオープンのイベントを通して、駅周辺施設の利活用を図り、今後の地域活性化策を探ります。
達成度	S 達成目標を上回る（100%を超える）★★★★
達成状況	ランドオープンを実施し、ショーケース利用し地域情報を発信した。さらに新たなイベントの開催が決定するなど、地域活性化を進めることできた。
今後の課題解決策	今後、駅東側の東西線の道路が完成すれば、新たな課題が生まれることが想定されるので、状況の変化に対応していかなければならない。
約束内容	内水対策のためのネットワークの構築と地域内公共施設との連携
達成目標	排水路の異常水位到達時に、総合支所に連絡しても、職員が現場に着くまで時間を要するため、内水排除のためのゲート封鎖を地域住民が行っていました。水位観測システムを導入し、新たな水防マニュアルを整備して、職員の初動を早くし、ゲート封鎖や排水機場の稼働、住民の自動車の移動の呼びかけなど、被害防止策を強化します。一方、避難所開設時の課題点を洗い出し、学校・幼稚園・保育所の連携を強化し、今年度は三者が同時に子供たちの親への引き渡し訓練をします。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	水位観測システムは計画通り導入され、防災効果を上げた。一方、学校等との連携強化し、出された課題を概ね解決することが出来た。
今後の課題解決策	今後は、水位観測システムの中で、排水ポンプの稼働状況が分かるように改修する必要がある。

約束内容	8. 5豪雨災害30年イベントを通じた防災意識の高揚
達成目標	鹿島台地域で大きな被害が出た昭和61年8月5日の豪雨災害から30年が経過しました。30年未満は災害を知らないという状況にあります。今回のイベントには、9.11の集中豪雨での被災地域の市民へも参加を促し、異常気象が日常化している現在の気象の状況を知るとともに、災害の怖さと災害への対応を探る機会にしていきます。
達成度	S 達成目標を上回る（100%を超える）★★★★
達成状況	30年イベントは多くの参加者があり、さらに学校での出前講座や市内校長会の講話を開催し、防災意識を高揚させることが出来た。
今後の課題解決策	今後も、行政区やまちづくり協議会を通して、防災知識の学習を継続していかなければならない。

約束内容	総合支所職員の一体化
達成目標	総合支所内の2課は、執務スペースが完全に分離しているため、同じ庁舎に居ながら、顔を合わせる機会が少ない状況にあります。職員相互の情報交換がないため、会議等が重なり、駐車場が不足したり、相互の仕事の内容や状況が理解されていないため、相互に職員の協力依頼をしても不満が出たりしています。その状況を解消するため、総合支所内で調整会議を定期的で開催し、日程を調整したり、周辺清掃に加え、総合支所全体で新たな取り組みが出来ないか、模索します。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%）★★☆☆
達成状況	市民対応やイベントが多く、情報交換場を定期的を持つことはできなかった。管理職を通し指示伝達をして対応したが、成果が十分出なかった。
今後の課題解決策	勤務時間内に集まることは難しいので、パソコン内の共通ファイル等を活用し、個別に参加できる時間に情報や意見を発信するなど工夫を凝らす。